

物音は一個にひとつ秋はじめ

藤田湘子

湘子の句集『一個』の後記より引用する。

【「一日十句」は只今も繼續中であり、今後さらに一年餘り繼續する心づもりであるが、私がこの多作法によつて、私の俳句觀にもし何かの新たな發見を得るとするならば、それは多分この方法を終熄せしめた時以後であらう。『一個』はさうした過程の句集として讀んでいただければ幸ひである。(以下略)】

二月から始めた一日十句修行から約半年、八月二十三日にこの句は生まれた。白隱禪師の有名な「せきしゅおんじょう隻手音聲」の公案に応えるような一句でもある。相対的な分別など考えず、ただ日常を、この秋をしっかりと生きようと思ひ定めた「秋はじめ」である。

1986年 (558.08.23作) 第六句集『一個』 鑑賞・轍郁摩